

新進気鋭の
若手から
人間国宝まで



The 71st Japan Traditional Kōgei
—Art Crafts— Exhibition

井戸川 豊《銀泥彩磁鬼灯文鉢》日本工芸会保持者賞

第71回

日本伝統工芸展

陶芸／染織／漆芸／金工／木竹工／人形／諸工芸

2025 2/19 (水) 会期中無休 3/9 (日) February 19(Wed) — March 9(Sun) 2025
令和7年

開館時間=9:00~17:00(金曜日は19:00まで開館) ※入場は閉館の30分前まで ※2月19日は10時開場 ※開館情報に変更の生じる場合がございます。最新情報は広島県立美術館(電話・HP・SNS)まで

入館料=一般/700円 高・大学生/400円 ※中学生以下無料 ※前売り・20名以上の団体は当日料金より200円引き ※前売券は広島県立美術館、広島市・呉市内の主なブレイガイド、画材店・画廊、ゆめタウン広島などで販売しています。 ※学生券をご購入・ご入場の際は学生証のご提示をお願いします。 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者(1名まで)の当日料金は半額です。手帳をご提示ください。

主催=広島県立美術館/NHK広島放送局/朝日新聞社/(公社)日本工芸会

協賛= MAZDA HIROTANI 株式会社ヒロテック

Hours: 9:00-17:00 (Fridays open until 19:00)
Admission Adults: ¥700 High school, college and university students: ¥400
※advance / group admission at ¥200 off the regular fee.

〈広島県内の入選作家〉 | 陶芸 | 木村 芳郎 | 染織 | 山城 直子
| 漆芸 | 金城 一國斎、高山 尚也 | 金工 | 河田 歩里 | 木竹工 | 小林 松斎 | 諸工芸 | 粟根 仁志

広島県立美術館

Hiroshima Prefectural Art Museum

〒730-0014 広島市中区上鞆町2-22

TEL.082-221-6246

FAX.082-223-1444

https://www.hpam.jp/



ワンコイン
縮景園

令和6年度
文化庁補助事業
文部科学省

【開催趣旨】

日本伝統工芸展は、日本の風土の中から生まれた世界に誇る工芸技術を、発展継承させることを目的に、昭和29年に創設されました。伝統的な「わざ」をベースとしながら、今日の生活に合った新たな技術、新たな表現を築き上げることを目標としています。広島展では、陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の各部門から、広島在住作家の入選作7点を含む約280点を展示します。新進気鋭の若手から人間国宝（重要無形文化財保持者）まで、日本を代表する工芸家たちの最新作をお楽しみください。

【展覧会の構成】

本展は陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の7部門から構成されます。

I 陶芸

土器、炝器、陶器、磁器というように、やきものは原料とその性質から分類されます。さまざまな釉薬や上絵具による絵付け、窯の中で偶然的に発生する窯変など、バラエティに富んだ作品を紹介します。

II 染織

染織は文字どおり、染めることと織ることをいいます。木綿や絹、芭蕉や和紙などを素材として用いた、染めと織り、刺繍などによる色とりどりの着物を紹介します。

III 漆芸

漆芸は、東アジアや東南アジアで発達した東洋独特の工芸で、各地域で特色のある器や調度が作られてきました。漆の塗肌の味わいや光沢を活かした髹漆、貝を使った華やかな螺鈿など多彩な作品を紹介します。



井戸川 豊《銀泥彩磁鬼灯文鉢》日本工芸会保持者賞



遠藤 あけみ《型絵染着物「あすなろの森」》東京都知事賞



田中 義光《蒔絵箱「盛夏」》日本工芸会奨励賞

IV 金工

金工は文字どおり、金属による工芸をいいます。素材は、金、銀、銅、鉄、異なる金属を合わせた合金など。叩いて成形する鍛金、熱く溶かした金属を鋳型に流し込んで成形する鋳金、彫ったり鍍金したりして加飾する彫金など様々な技法による作品を紹介します。



原 智《鐵地象嵌花器》日本工芸会総裁賞

V 木竹工

木竹工は、木工と竹工をいいます。木工の技法は大きく分けてロク口を使った^{ひきもの}挽物、削って形を作る^{くりもの}削物、薄い板を曲げて成形する^{まげもの}曲物、板状の木を複雑に組み合わせた^{さしもの}指物などがあります。ケヤキや黒柿、松や黒檀など木の性質を活かして作品制作が行われます。竹工は、真竹や孟宗竹などをそのまま、あるいは細く割ってヒゴとし、編んで作品とします。



松原 輝《櫛拭漆蓋物「夕映鯨」》日本工芸会新人賞

VI 人形

伝統的な人形制作は木彫や桐塑、張子や陶磁製の陶胎があります。作品の背景にあるだるう物語や伝説はもちろん、衣装の布選びや小物まで、作者は工夫をこらしています。



満丸 正人《木芯桐塑和紙貼「あかばな」》高松宮記念賞

VII 諸工芸

諸工芸には、ガラスや七宝、玉や象牙、截金や硯などが含まれます。ガラスの成形法には、型を使う方法と使わない方法があり、切子や腐蝕などで加飾します。七宝は銀や銅などの素地にガラス質の釉薬を焼き付けるもので、有線七宝、無線七宝、省胎七宝などがあります。メノウや水晶をくりぬいた玉、線状に切った金箔などを貼ることで文様を表した截金、山口県や山梨県などが特産の硯といった多彩な作品を紹介します。



安藤 令子《七宝鉢「律」》日本工芸会会長賞

【関連イベント】

■講演会（共催：広島県立美術館友の会）

テーマ：「日本伝統工芸展と私の仕事」

講師：須田 賢司（重要無形文化財「木工芸」保持者）

日時：2月24日（月・振休）13:30～15:00（開場 13:00）

場所：地階講堂

※聴講無料、事前申込制（当館 082-221-6246）、空きがあれば当日参加も可

■実は先輩 × 後輩！対談

テーマ：広島市立大学出身の金工作家が語る、学生時代の思い出と創作の裏側

講師：佐故 龍平（2002年博士前期課程修了）

河田 歩里（博士前期課程2年）

日時：2月22日（土）13:30～14:30（開場 13:00）

場所：地階講堂

※聴講無料、事前申込制（当館 082-221-6246）、空きがあれば当日参加も可

■ギャラリートーク

日時・講師：

① 2月21日（金） 11:00～ 岡地 智子（全般・当館主任学芸員）

② 2月22日（土） 11:00～ 粟根 仁志（七宝作家）

③ 2月23日（日・祝） 11:00～ 金城 一国斎（漆芸家）

④ 2月28日（金） 11:00～ 福田 浩子（染織・当館学芸課長）

⑤ 3月1日（土） 11:00～ 井戸川 豊（陶芸家）

⑥ 3月2日（日） 11:00～ 木村 芳郎（陶芸家）

⑦ 3月8日（土） 11:00～ 小林 松斎（木工作家）

所要時間：約40分

場所：3階企画展示室

※要入館券

■学芸員によるインスタライブ

日時：2月19日（水）17:00～



公式Instagramはこちらから

■学芸員によるポッドキャスト

詳しくは当館（HP・SNS）にて

■子供ワークショップ「ギャラリートークに挑戦しよう！」

学芸員から作品の見どころや説明の仕方・話し方を学び、子供たちが保護者や一般来場者を前に展示室でギャラリートーク（作品解説）を行います。学芸員のタマゴ、この指とまれ！

講師：福田 浩子（当館学芸課長）

岡地 智子（当館主任学芸員）

日時：2月23日（日・祝）13:00～16:00（受付開始12:50）

子供ギャラリートークは15:00～

受付：3階ロビー 参加料：無料

対象：小・中学生 募集人数：10人

※要事前申込（当館082-221-6246）、子供ギャラリートーク聴講は申込不要、要入館券

■六感 chocolate 展覧会オリジナルスイーツ

受賞作《銀泥彩磁鬼灯文鉢》をイメージしたオリジナルスイーツをご用意します。

期間限定

2月19日（水）～28日（金）／1日10食限定

場所：3階ティールーム

六感
chocolate

■工芸作家の小品販売

日本工芸会会員の作品を、会期中、3階ミュージアムショップで販売します。

一点ものの作品をお手頃な価格でご準備しております。

■ワンコイン縮景園

本展入館券のご提示により、一般・大学生・高校生は100円で縮景園にご入園いただけます。

お気に入りを見つけてシェア！

展覧会会場では、一部作品の撮影が可能です。

※作品保護のため、撮影時の注意事項をお守りください。

広島県立美術館 × 広島市現代美術館 × ひろしま美術館 相互割引

会期中、広島市現代美術館、ひろしま美術館で開催中の特別展チケット（半券可）を受付にご提示いただくと、当日入館券を100円割引でお求めいただけます。詳しくは各館にお問い合わせください。

・1枚につき1名様有効。その他の割引との併用はできません。

【開催概要】

メインタイトル：第 71 回日本伝統工芸展

英語名：The 71st Japan Traditional Kōgei-Art Crafts-Exhibition

会期：令和 7 年 2 月 19 日（水）～ 3 月 9 日（日）会期中無休

開館時間：9：00～17：00（金曜日は 19：00 まで開館）

※入場は閉館の 30 分前まで

料金：一般 700 円 高・大学生 400 円 ※中学生以下無料

※前売り・20 名以上の団体は当日料金より 200 円引き

※前売券は広島県立美術館、広島市・呉市内の主なプレイガイド、画材店・画廊、ゆめタウン広島などで販売しています。

※学生券を購入・入場の際は学生証の提示をお願いします。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と介護者（1 名まで）の当日料金半額です。手帳を提示してください。

開催クレジット

主催：広島県立美術館／NHK 広島放送局／朝日新聞社／公益社団法人日本工芸会

助成：令和 6 年度文化庁補助事業

協賛：マツダ株式会社／株式会社ヒロタニ／株式会社ヒロテック

問い合わせ先：広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町 2-22

TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail：iroeuma2@gmail.com

担当：学芸課 岡地 智子

広報担当：総務課 一色 直香

公式 SNS はこちらから



【媒体掲載用の画像提供について】

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。

※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。

※画像については提供が可能です。掲載の際に画像が必要な場合は、当館へお問い合わせください。

※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館へ提出していただき、

1 週間程度お時間を頂きます。ご了承ください。

※展示室内での筆記具の使用は鉛筆のみお願いします。（ボールペンなど使用不可）